

IFIAR 本会合開催実績

	期 間	場 所	参 加 当 局
第 1 回	平成 19 年 3 月 22・23 日	東京	22 か国・地域
第 2 回	平成 19 年 9 月 24・25 日	トロント	21 か国・地域
第 3 回	平成 20 年 4 月 9～11 日	オスロ	22 か国・地域
第 4 回	平成 20 年 9 月 22～24 日	ケープタウン	21 か国・地域
第 5 回	平成 21 年 4 月 27～29 日	バーゼル	30 か国・地域
第 6 回	平成 21 年 9 月 14～16 日	シンガポール	29 か国・地域
第 7 回	平成 22 年 3 月 22～24 日	アブダビ	30 か国・地域
第 8 回	平成 22 年 9 月 27～29 日	マドリッド	37 か国・地域
第 9 回	平成 23 年 4 月 11～13 日	ベルリン	34 か国・地域
第 10 回	平成 23 年 9 月 26～28 日	バンコク	29 か国・地域
第 11 回	平成 24 年 4 月 16～18 日	釜山	32 か国・地域
第 12 回	平成 24 年 10 月 1～3 日	ロンドン	39 か国・地域
第 13 回	平成 25 年 4 月 15～17 日	ノールドワイク	42 か国・地域
第 14 回	平成 26 年 4 月 7～9 日	ワシントン DC	44 か国・地域
第 15 回	平成 27 年 4 月 21～23 日	台北	38 か国・地域
第 16 回	平成 28 年 4 月 19～21 日	ロンドン	48 か国・地域
第 17 回	平成 29 年 4 月 4～6 日	東京	47 か国・地域
第 18 回	平成 30 年 4 月 17～19 日	オタワ	47 か国・地域
第 19 回	平成 31 年 4 月 30 日 ～令和元年 5 月 2 日	ギリシャ	50 か国・地域
第 20 回	令和 2 年 4 月 20～22 日	書面開催のみ ※新型コロナウイルス感染症拡大のため。	
第 21 回	令和 3 年 4 月 19～21 日	ビデオ会議形式	54 か国・地域
第 22 回	令和 4 年 4 月 25～27 日	ビデオ会議形式	53 か国・地域
第 23 回	令和 5 年 4 月 25～27 日	ワシントン DC	44 か国・地域
第 24 回	令和 6 年 4 月 16～18 日	大阪	48 か国・地域

第24回監査監督機関国際フォーラム本会合（大阪）の開催 について

第24回監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）本会合が下記のとおり大阪で開催され、日本からは公認会計士・監査審査会の松井会長、青木委員、金融庁の園田IFIAR戦略企画室長等が参加したほか、長岡 金融庁総合政策局審議官 兼 公認会計士・監査審査会事務局長がIFIAR議長として参加し、最近の監査監督に関する論点について、各監査監督当局やステークホルダーの代表者と意見交換を実施しました。

概要につきましては、IFIAR事務局によるプレスリリース（ステークホルダー・アナウンスメント）をご参照ください。

記

1. 日程・開催形式

令和6年4月16日（火曜）～令和6年4月18日（木曜）

日本・大阪市

2. 参加者

48か国・地域の監査監督機関

議長

長岡隆 金融庁総合政策局審議官 兼 公認会計士・監査審査会事務局長

3. 主な議題

監査法人のガバナンス、サステナビリティ報告及び保証、監査法人によるテクノロジー活用の増加など、最近の監査監督に関する論点

4. プレスリリース

 [\(原文\)](#) ・  [\(仮訳\)](#)

IFIARやその活動に関する更なる情報につきましては、[IFIARウェブサイト](#)や[当庁のIFIAR特設ページ](#)をご参照下さい。

お問い合わせ先

金融庁 Tel 03-3506-6000（代表）

金融庁総合政策局IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室
公認会計士・監査審査会事務局 総務試験課
（内線2432）

プレスリリース（仮訳）

2024年4月18日
大阪

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が2024年本会合を大阪にて開催

4月16日から18日にかけて、金融庁/公認会計士監査審査会事務局の主催で、2024年IFIAR本会合が開催された。48の国・地域を代表するIFIARメンバーが大阪に集い、監査業界における主要な動向や新たなトレンドに関する議論を行った。

IFIAR議長及び公認会計士監査審査会事務局長の長岡隆氏は、次のように述べた。「高品質な監査への期待が一層高まる環境の中で、世界の監査監督当局からの参加者を大阪にお招きすることができ嬉しく思う。本会合は、現在、監査監督当局が直面する最も重要な動向に対応する上で、取組を継続し、高品質な監査を担保するという共通の目的を追求するための重要な機会であると共に、3日間の意欲的なアジェンダは、IFIARメンバーが監査監督の経験や知見を共有するプラットフォームを提供した。」

一連のパネルディスカッションを通じて、IFIARメンバー、オブザーバー、その他の主要なステークホルダーの代表は、監査法人のガバナンス、サステナビリティ報告及び保証、監査法人によるテクノロジー活用の増加を含む、主要トピックについて議論した。

- シンポジウムセッションは、監査法人のガバナンス、監査法人のガバナンス構造における問題点を浮き彫りにした近時の事例に端を発した主要課題に関する基調講演により開幕した。このトピックは、分科会でも取り上げられ、4人のIFIARメンバーが、それぞれの法域における経験及び近時の進展を共有した。
- 2つ目の分科会では、サステナビリティ情報の報告における保証に焦点を当てた。サステナビリティ情報の報告は、近年、多くの法域において一般的になっており、新たな期待ギャップの克服における利用者及び保証提供者にとっての課題について、外部のパネリストが議論した。
- 3つ目の分科会では、IFIARメンバーに対して、IFIARのテクノロジータスクフォースにおける知見の提供、及び監査を行う監査法人におけるテクノロジー活用の増加に対して、IFIARメンバーが行った対応について議論する機会となった。
- その他のセッションにおいては、IAASB（国際監査・保証基準審議会）議長とIESBA（国際会計士倫理基準審議会）議長が、サステナビリティ、基準設定プロセスにおけるモニタリンググループ改革の影響を含む、それぞれの基準設定活動を議論した。また、IFIARの投資家・その他利害関係者ワーキンググループの外部諮問グループのメンバーは、利害関係者の限定的保証、合理的保証の理解、及び企業報告・監査における監査委

員会の監督について議論をした。

- 過去の会合と同様、6大グローバル監査ネットワーク¹のグローバルCEOはIFIARメンバーに対して幅広いトピックについて説明するよう招待され、そこでは (i) 各ネットワークのガバナンス戦略、(ii) 公表されているIFIARの検査指摘調査報告の失望・懸念すべき結果への対応を含む監査品質についての見解、(iii) 人工知能（AI）のような新しいテクノロジーの活用に向けたネットワークの計画について議論された。

ワーキンググループ及びタスクフォース

IFIARのワーキンググループ（WG）議長・タスクフォース（TF）リードから、過去1年間の活動報告と今後一年間の計画についての共有があった。IFIARのWGとTFはメンバー主導で運営されており、IFIARがミッションを達成する上で重要な役割を果たしている。IFIARの5つのWGと3つのTFは、監査品質、検査、執行、基準設定、投資家・その他利害関係者、テクノロジーの活用、サステナビリティ保証の各分野において、実務的な成果物に焦点を当てている。

IFIAR について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、2006年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、大洋州、欧州の56の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。そのミッションは、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することである。IFIARは、世界中の監査品質や規制の実務について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIARの公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、欧州委員会（EC）、金融安定理事会（FSB）、保険監督者国際機構（IAIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）、公益監視委員会（PIOB）及び世界銀行である。IFIARに関する更なる情報については、IFIAR ウェブサイト（www.ifiar.org）を参照されたい。

¹ 各 GPPC ネットワークは、各国又は法域において法的に独立した法人で構成されている。GPPC ネットワークは、Global Public Policy Committee に参画しており、BDO、Deloitte Touche Tohmatsu、Ernst & Young、Grant Thornton、KPMG 及び PricewaterhouseCoopers に代表される。

監査監督機関国際フォーラムによる 「2024年検査指摘事項報告書」の公表について

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）は、メンバー国の監査監督当局を対象に、2024年（令和6年）、13回目となる検査指摘事項調査を実施しました。この度、その結果を取りまとめた「2024年検査指摘事項報告書」（原題：Survey of Inspection Findings 2024）を公表しました。

なお、公認会計士・監査審査会事務局は、本報告書の取りまとめを行う作業チームに参画しており、引き続き当該取組みに貢献してまいります。

詳細につきましては、以下をご覧ください。

 [プレスリリース（原文）](#)（PDF：146KB） ・  [（仮訳）](#)（PDF：530KB）

 [「2024年検査指摘事項報告書」（原文）](#)（PDF：674KB）

お問い合わせ先

金融庁 Tel 03-3506-6000（代表）

総合政策局IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室
公認会計士・監査審査会事務局 総務試験課（内線2415）

プレスリリース(仮訳)

監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) が年次検査指摘事項調査の報告書を公表

2025 年 3 月 17 日

2024 年 年次検査指摘事項調査

IFIAR は、本日、6 大グローバル監査法人ネットワーク (GPPC ネットワーク)¹に加盟している監査法人に対して、IFIAR メンバー当局が個別に行った検査に基づく 13 回目の年次検査指摘事項調査の結果に係る報告書を公表した。過去の年次調査と同様、IFIAR は、個別監査業務に対する検査及び法人全体の品質管理態勢に対する検査の 2 分野の取組に関する情報収集を行った。50 法域の IFIAR メンバー当局が 2024 年調査に参加した。

2024 年調査における IFIAR メンバー当局の報告によると、検査を行った個別監査業務のうち、1 つ以上の指摘があったものは、2023 年調査の 32% に対し、34% だった。これは昨年の 6% の増加に続く 2% の増加であり、これまで実現してきた緩やかな減少とは対照的に、懸念が示される傾向となっており、メンバーファームが実施した監査品質向上への取組が、十分に効果的でないことを示している。

IFIAR は強い懸念を表明し、GPPC ネットワーク及びそのメンバーファームに対して、指摘が継続的に増加している理由を把握するために、より徹底したレビュー及び根本原因分析を実施するよう改めて求める。IFIAR は監査法人による一貫して持続的な高い監査品質を促進することを目指している。したがって、一貫した、かつ持続的な高品質の監査を実施し、この後退を反転させるとともに、監査品質を向上させるため、特定された問題に対処し、全ての必要な措置を迅速に実施することが不可欠である。IFIAR は、監査法人に対して監査手続及び監査結果を向上させるための積極的な措置を講じるよう求める。

本調査について

IFIAR の年次検査指摘事項調査は、監査法人の品質管理態勢及びシステム上重要な金融機関 (SIFIs) を含む上場 PIEs の監査について、IFIAR メンバー当局の主な検査結果をまとめたものである。PIE 監査における検査指摘事項は、監査事務所が監査意見を裏付けるのに十分かつ適切な監査証拠を入手していなかったことを示す、監査手続上の不備である。しかし、必ずしも当該財務諸表に重要な虚偽表示があることを示唆するものではない。

メンバー当局の検査プログラムの集計結果の各年毎の変化が、必ずしも監査品質の継続的な変化を示すものではないため、IFIAR は、調査結果の全体的な傾向を長期的にモニターしている。さらに、本調査結果は、監査法人による監査品質改善の進捗を測定する唯一の要素ではない。IFIAR メンバー当局の検査はリスクベースの手法を取っているため、年間を通じて、必ずしも全ての監査事務所や品質管理項目、保証業務を代表するサンプルを選んでいるわけではない。

¹ (公認会計士・監査審査会事務局注) Global Public Policy Committee networks : BDO、Deloitte Touche Tohmatsu、Ernst & Young、Grant Thornton、KPMG 及び PricewaterhouseCoopers

監査品質を向上させる責任は監査法人にあるが、IFIAR は、メンバー当局の権限に基づく監督能力を向上させ、また、より高品質な監査の実現のため、GPPC ネットワークと定期的に対話し、働き掛けを行うといった様々な活動を通じて、グローバルに一貫した高品質な監査に向けた発展に影響を与えることに努める。

IFIARについて

監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) は、2006 年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパの 56 の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。その使命は、グローバルに監査品質を向上することにより、投資家を含む公益に資することである。IFIAR は、世界中の監査品質や規制実施について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIAR の公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会 (BCBS)、欧州委員会 (EC)、金融安定理事会 (FSB)、保険監督者国際機構 (IAIS)、証券監督者国際機構 (IOSCO)、公益監視委員会 (PIOB) 及び世界銀行である。IFIAR に関する更なる情報については、IFIAR ウェブサイト (www.ifiar.org) を参照されたい。

IFIAR Releases Report on 2024 Annual Survey of Audit Inspection Findings

17 March 2025

2024 Annual Survey of Inspection Findings

The International Forum of Independent Audit Regulators (IFIAR) released today a report on the results of its thirteenth annual survey of inspection findings. These findings arise from its Member regulators' individual inspections of audit firms affiliated with the six largest global audit firm networks (the Global Public Policy Committee networks, or "GPPC networks")¹. As with prior years' surveys, IFIAR collected information about two categories of activities: inspections of firm-wide systems of quality control and inspections of individual audit engagements. IFIAR Members from fifty jurisdictions contributed to the 2024 survey.

IFIAR Members reported in the 2024 survey that 34% of audit engagements inspected had at least one finding, compared to 32% in the 2023 survey. This two percentage point increase in findings from the previous year, following a six percentage point increase the year before, reveals a troubling trend in contrast to the gradual reduction achieved previously. This suggests that the initiatives implemented by member firms to address audit quality have not proven sufficiently effective.

IFIAR voices its strong concern and reiterates its call on the GPPC networks and their member firms to conduct a more thorough review and root-cause analysis to understand the reasons for this continued increase in findings. IFIAR aims to promote consistent sustainable high audit quality by the firms. As such, it is imperative that all necessary actions be promptly implemented to address the issues identified in order to reverse this decline and drive improvement in audit quality to achieve consistent and sustainable high-quality audit performance. IFIAR urges the firms to take proactive steps to enhance their audit processes and outcomes.

¹ Each of the GPPC networks is comprised of a group of legally separate firms operating locally in countries or regions around the world. The GPPC networks participate in the Global Public Policy Committee (GPPC), represented by the following entities: BDO International Limited, Deloitte Touche Tohmatsu Limited, Ernst & Young Global Limited, Grant Thornton International Limited, KPMG International Cooperative, and PricewaterhouseCoopers International Limited.

About the Survey

IFIAR's annual Inspection Findings Survey collects data on key results from IFIAR Members' inspections of audit firms' systems of quality control and audits of listed public interest entities (PIEs), including systemically important financial institutions (SIFIs). Inspection findings for PIE audits are deficiencies in audit procedures that indicate that the audit firm did not obtain sufficient appropriate audit evidence to support its opinion, but do not necessarily imply that those financial statements are also materially misstated.

IFIAR monitors general trends in survey findings over time, as individual year-over-year changes in aggregate results across our Members' inspections programs are not necessarily indicative of lasting changes in audit quality. Furthermore, the survey results are not the sole factor when considering firms' progress in improving audit quality. Members' inspection processes follow a risk-based methodology and are not necessarily intended to select a representative sample of all firms or of all their quality control elements or assurance work throughout the year.

While responsibility for improving audit quality rests with audit firms, IFIAR seeks to influence progress towards consistent, high-quality audits globally through various activities, including by advancing the regulatory oversight capabilities of its Members and by regularly engaging with and challenging the GPPC networks to achieve higher quality audits.

About IFIAR

Established in 2006, the International Forum of Independent Audit Regulators (IFIAR) comprises independent audit regulators from 56 jurisdictions representing Africa, North America, South America, Asia, Oceania, and Europe. Our mission is to serve the public interest, including investors, by enhancing audit oversight globally. IFIAR provides a platform for dialogue and information-sharing regarding audit quality matters and regulatory practices around the world; and promotes collaboration in regulatory activity. IFIAR's official observer organizations are the Basel Committee on Banking Supervision, the European Commission, the Financial Stability Board, the International Association of Insurance Supervisors, the International Organization of Securities Commissions, the Public Interest Oversight Board and the World Bank. For more information about IFIAR, visit www.ifiar.org.

IFIAR 検査ワークショップ開催実績

	期 間	場 所	参 加 当 局
第 1 回	平成 19 年 5 月 30・31 日	アムステルダム	22 か国・地域
第 2 回	平成 20 年 1 月 29・30 日	ベルリン	20 か国・地域
第 3 回	平成 21 年 2 月 11～13 日	ストックホルム	25 か国・地域
第 4 回	平成 22 年 2 月 9～12 日	パリ	31 か国・地域
第 5 回	平成 23 年 2 月 23～25 日	ワシントン DC	30 か国・地域
第 6 回	平成 24 年 3 月 5～7 日	アブダビ	32 か国・地域
第 7 回	平成 25 年 3 月 4～6 日	チューリッヒ	38 か国・地域
第 8 回	平成 26 年 3 月 10～12 日	クアラルンプール	36 か国・地域
第 9 回	平成 27 年 3 月 2～4 日	ロンドン	37 か国・地域
第 10 回	平成 28 年 2 月 22～24 日	アブダビ	34 か国・地域
第 11 回	平成 29 年 2 月 8～10 日	アテネ	41 か国・地域
第 12 回	平成 30 年 2 月 20～22 日	コロンボ	41 か国・地域
第 13 回	平成 31 年 3 月 6～8 日	パリ	47 か国・地域
第 14 回	令和 2 年 2 月 4～6 日	ワシントン DC	40 か国・地域
第 15 回	令和 3 年 3 月 23～25 日	オンライン形式	51 か国・地域
第 16 回	令和 4 年 3 月 22～24 日	オンライン形式	50 か国・地域
第 17 回	令和 5 年 3 月 7～9 日	バリ	約 40 か国・地域
第 18 回	令和 6 年 3 月 5～7 日	ダブリン	約 45 か国・地域
第 19 回	令和 7 年 3 月 5～7 日	モーリシャス	約 36 か国・地域

日本 IFIAR ネットワーク 会員

【会計監査税務】

- 日本監査研究学会
- 日本監査役協会
- 日本公認会計士協会
- 日本税理士会連合会
- 日本内部監査協会

【経済界】

- 経済同友会
- 日本経済団体連合会

【金融資本市場】

- 金融先物取引業協会
- 国際銀行協会（I B A）
- 信託協会
- 生命保険協会
- 全国銀行協会
- 第二種金融商品取引業協会
- 投資信託協会
- 日本証券アナリスト協会
- 日本証券業協会
- 日本損害保険協会
- 日本投資顧問業協会
- 日本取引所グループ
- 日本 I R 協議会

【その他】

- 日本弁護士連合会

【オブザーバー】

- 東京都

計 22 団体

（注 1）各分類内で 50 音順

（注 2）○印は、ネットワークの行事を企画する企画委員会に所属する会員。計 9 会員。